



法でも材料と工法に慎重でないと写真のような失敗をやる。これは下地ボードの収縮に起因するき裂つである。

#### 目き-14 畳のダニ

畳から「だに」が発生する事件が近年多くなった。被害現場を調査すると畳の上を列をなしてはっている小さな虫が見出される。畳だけに限らず蓆マットからも次々として出て来て手を焼く。防虫剤としては、畳床用の原料薬をバルサン、クロロピクリン、フォルマリンなどで一昼夜噴霧して、だにを完全に死滅させてしまうこと。畳を敷き込んでは発生した場合の対策としては、

1. 畳を日光にて十分乾燥させる。これを二、三回繰り返す。

2. 殺虫剤を散布する。

殺虫剤として次のようなものがあるが、すでに生産を止められているものもあり、人体に害毒を及ぼすものもあるから注意を要する。

- |                |           |
|----------------|-----------|
| 1. D. D. T     | 6. パンフォース |
| 2. B. H. C     | 7. バルサン   |
| 3. D. D. Y. T  | 8. ギルダリン  |
| 4. ビーバラ        | 9. オルソラン  |
| 5. S. T. フリゾール | など        |

手に負えない場合には近くの保健所、衛生研究所などに相談する。

#### 目き-15 リターンダラムの前に物を置かない

リターンダラムの前に家具などを置いて、ひどいときはキャビネットを並べてリターンダラムが全く殺されている例を見かける。左図は家具未搬入の場合だが、この状態に近ければ近いほど室内空気は快速に保たれる。

#### 目き-16 換気材で囲ふこと

1. 例えば釣床が日本屋がないといったときに柱立していたのでは間に合わないし、かといって柱の寸法を基として真にあわせるわけにもいかない。この種の不便が現場ではよくある。

2. すべての造作材を換気材でやればともかく、そうでない場合、真物材も換気材につられて上等になり、結